

東広島市訓令第 5 号

東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程及び東広島市物品調達等及び委託役務に係る業者の選定に関する規程の一部を改正する訓令を次のように定める。

令和 7 年 3 月 2 6 日

東広島市長 高 垣 廣 徳

東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程及び東広島市物品調達等及び委託役務に係る業者の選定に関する規程の一部を改正する訓令

次に掲げる訓令の規定中「禁錮」を「拘禁刑」に改める。

(1) 東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程（昭和 5 1 年東広島市訓令第 1 4 号）

別表第 4 の 1 の項第 2 号カ

(2) 東広島市物品調達等及び委託役務に係る業者の選定に関する規程（平成 2 1 年東広島市訓令第 1 号）別表第 2 の 1 の項第 2 号オ

附 則

- 1 この訓令は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。
- 2 刑法等の一部を改正する法律（令和 4 年法律第 6 7 号）及び刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律（令和 4 年法律第 6 8 号）並びにこの訓令（以下「刑法等一部改正法等」という。）の施行前に禁錮以上の刑に当たる犯罪の容疑により公訴を提起され、又は禁錮以上の刑を宣告された者は、第 1 号の規定による改正後の東広島市建設工事等請負業者選定に関する規程別表第 4 の 1 の項第 2 号カの規定の適用については、拘禁刑以上の刑に当たる犯罪の容疑により公訴を提起され、又は拘禁刑以上の刑を宣告された者とみなす。
- 3 刑法等一部改正法等の施行前に禁錮以上の刑に当たる犯罪の容疑により公訴を提起された者は、第 2 号の規定による改正後の東広島市物品調達等及び委託役務に係る業者の選定に関する規程別表第 2 の 1 の項第 2 号オの規定の適用については、拘禁刑以上の刑に当たる犯罪の容疑により公訴を提起された者とみなす。